

14102 文化ネットワーク実習 e Cultural Networking		1 年次～ 通年 2 単位	
担当者	斎藤 聖二	履修可能学科	C 必
		関 連 資 格	教職（C）
サブタイトル	パソコン完全マスター講座		
授業内容 ・ ねらい	私たちの社会は、自己を表現し、他者を理解し、さまざまな意見やデータの交換をおこない、議論を交わす効果的な手段のひとつとして、パーソナルコンピュータという機械を持っている。この授業は、一年間をかけて、みっちりとそのパソコンの実習を積み重ね、初心者が自在にパソコンを使いこなせるようになることを目標としている。使用するパソコンは、世界でもっとも高いシェアを持つウィンドウズXPで動くものとする。毎回コンピュータ室で授業するので自分のパソコンを用意する必要はない。		
授業計画	1～2. キーボードのタイピング操作に習熟する ＝現在のパソコンのほとんどがキーボード入力によって動くため、タイピング能力の向上はパソコンを自在に使う前提となる 3. ウィンドウズXPについての説明ならびに基本操作を学ぶ ＝パソコンの概要を理解し、オペレーティングシステム操作を身につける 4～6. インターネットエクスプローラの説明ならびに基本操作を学ぶ ＝インターネットの世界を理解し、安全にネットサーフィンをしなが必要な情報を収集する方法を知る 7～9. アウトLOOKエクスプレスの説明ならびに基本操作を学ぶ ＝eメールの送受信ができるようにする 10～15. ワードの説明ならびに基本操作を学ぶ ＝レポートを書いたり、日記を書いたり、自己表現の手段としてのワープロ操作に習熟する 1～10. エクセルの説明ならびに基本操作を学ぶ ＝表計算ソフトの使い方を身につけ、卒業後のさまざまなシーンで役立てられるようにする 11～15. パワーポイントの説明ならびに基本操作を学ぶ ＝パソコンを使ったプレゼンテーションの仕方を身につけ、有効な意思伝達の方法として使用できるようにする		
教科書 参考書	なし		
評価方法	出席、タイピングテストの点数、平常点、それぞれのソフトの習熟度。		
事前準備学習 履修条件等	参加者全員が初心者であるという前提でおこなう。 （2009・2010年度入学生は「14181文化ネットワーク実習a、b、c、d」を参照）		